



2019 年度 LSO 進路履修相談利用状況

今年度のLSOにおける進路履修相談の活動についてお伝えします。昨年度と比較しますと人的体制が整ったこともあり、学生さんに対して学期の始めから十分な対応が可能になりました。そのため、今年度の進路履修相談の延べ利用件数は大幅に増加し、2020年2月5日現在で、相談件数は1029件、相談の総時間は324時間となりました。昨年度と比べますとおよそ2倍(相談件数:535件、相談の総時間:165時間)となります。相談内容を見てみますと、履修に関する相談が最も多く、全体の約80%となりました。次いで、移行システム、学部の学習・研究、進路(就職・進学)、その他の相談が多く、それぞれ全体の約5%となりました(図1)。例年、新年度の開始時期には1年生からの相談が多く、初めて経験する大学の履修システムへの不安および総合入試制度による科目選択や複雑な学部学科移行システムに関する過誤を懸念することが要因の一つと思われます。

さらに、学年や入試形態別で相談件数を見てみますと、総合

入試理系で入学した1年次の学生さん(総合理系)から多くの質問や相談が寄せられました。次いで、理系学部に入試で入学した1年次の学生(学部別理系)からの質問が多く、総合理系と学部別理系の1年次の学生さんからの相談が全体の約80%を占めました(図2)。相談では移行の難易度や学科・コース分属に関する質問や悩みといった内容が目立ちました。また少数ではありますが、勉強と部活やアルバイトをはじめとする学生生活のバランスを考えた履修計画や2年次以上の学生さんから転学部などの相談が寄せられました。

毎年9月と2月に開催される学部・学科等紹介において、LSO主催のアカデミック・アドバイザーによる移行先個別相談会が盛況でした。学生さんから“研究職とはどういうものか”、“化学系の進路のについて知りたい”、“大学院修士課程で海外留学を希望しているが、その可能性について教えてほしい”といった幅広い相談が多く寄せられました。その後のアンケート調査で

学生さんから“ラーニングサポート室の個別相談が非常に役立った”とのご意見をいただきました。学生さんには予約なしで気軽に専門の先生方に相談できる貴重な機会となっています。実際的な助言や詳細な情報提供ができるアカデミック・アドバイザー制度が学生の進路選択等に役立っているものと見受けられます。(秋山 永治)

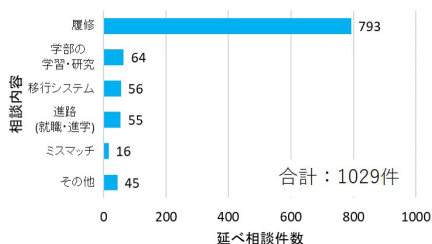


図1 月別の利用者内訳

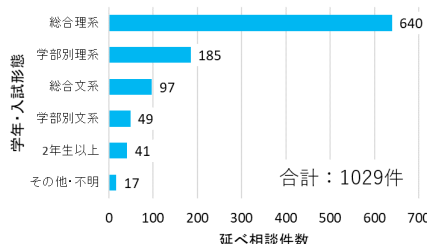


図2 学年・入試別の内訳

大学合同研修会報告

2020年2月21日に東北大学にて、東北大学学習支援センターと学習支援スタッフ合同研修会を行いました。

2020年2月に東北大学で大学合同研修会が開催されました。北大からLSOチューター(TA)6名と東北大からStudent Learning Adviser (SLA)メンバー6名が参加しました。学習支援を担う両大学の組織の交流と情報交換、および研修を通して客観的にこれまでの活動を振り返る場を設け、学習支援者としての能力向上を図りました。

学習支援では安心して話せる信頼関係を即座に構築する必要があります。研修では基礎レベルとして、アイスブレイクの工夫、問いかけや傾聴の態度、質問者への適切な学習指導や助言の仕方を学ぶことを目的としました。応用レベルとして、参加者全員が「大学における学修・学習としてのあるべき姿」や「大学生に対する学修相談対応ないし学習イベント」に効果的な方法論を論理的・体系的

に理解し整理することを目的としました。

まず前半部で両大学から学習支援の取り組みについて概要説明を行いました。続いて、両大学で行っている英語コミュニケーション活動を模擬体験しました。そして英会話能力に関係なく、参加者が主体的になるよう英会話の企画や進行方法について議論しました。並行して、数学と物理学の学習支援を担当する両大学のTA/SLAが、対応者と質問者の立場に分かれて実践しながらの模擬対応を行いました。相互に体験することで自らの対応をふりかえり、課題抽出と課題の解決に向けてのアイデアを共有しました。

後半部では、東北大学さんで開発している「かんがえるソファ」による哲学的対話実践を体験しました。「大学における学習とその支援についてかんがえる」をテーマにワークショップ形式で両大学のTA/SLA同士がアイデアを出しながら学習支援を洗練させ、両大学が抱える学習支援の問題や、制度的な差異と共通性を明確にさせることで、組織として学習支援の共通理解を構築しました。今後も大学合同研修会を開催していく予定です。両大学で情報共有を図り、高等教育での学習支援の向上と改善に努めてまいります。(秋山 永治)



大学合同研修会発表の様子
2020年2月21日撮影

退職に寄せて

特定専門職員の城谷大さんと秋山永治さんが、それぞれ2020年2月と3月に退職します。

ラーニングサポート室特定専門職員 城谷 大

2017年10月に着任し、約2年半LSOでお世話になりました。この間の北大での生活は非常に楽しく、北部食堂には昼食・夕食共にお世話になり、「今日は何を食べようか?」と心躍らせる毎日でした。LSOでは進路履修相談および学習サポート(化学・生物)を担当させて頂き、日々貴重な経験を積むことができました。進路履修相談で一番驚いたことは、入学直後から他系移行を考えている学生さんが多くいることでした。私の学生時代には大学入学後に学系を変更する考えはほとんど無く、特に文系から理系学部挑戦している学生さんがいることに衝撃を受けました。そして、その難しいハードルを見事に越えていく学生さんを實際目に

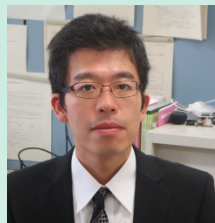
し、改めて北大生の底力を感じました。

学習サポートでは、特に化学I・IIと自然科学実験(化学)の質問対応をさせて頂きましたが、1年生にはレベルの高い内容が多く悪戦苦闘している学生さんも多々見られました。学習サポートで私が心掛けたことは、こうした学生さんにできるだけ丁寧にな得するまで教えることでした。自分自身スムーズに教えられないこともありましたが、教える側にも色々なアプローチがあつて良いのではないかと取り組んでおりました。それができる環境であつたのも、LSOの良い所だと思います。

私は進路履修相談と学習サポートの双方を通じて、目的をやり遂げる学生さん

は強い信念を持っており、そのために何を学び、何をすべきかを貪欲に求めているのだと感じました。実際、LSOに定期的に足を運んでくれた学生さんの中に、希望の学部学科に移行できた人は多くいます。できるだけ学生さんを前のめりの姿勢にもっていくことこそ、LSOの真骨頂だと思います。

最後になりますが、LSOの職員や院生チューター、および自身に関わって下さった教職員や北大生の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



ラーニングサポート室特定専門職員 秋山 永治

この度、2019年度をもちまして退職させていただくことになりました。私は2018年4月から主に学生さんの進路履修相談および物理学教科目の学習サポートを担当いたしました。進路履修相談では学生さんが本学の総合入試制度の目的を理解し、効果的に活用しながらしっかりと将来の道を進んで行けるように心掛けました。並行して大学初年次の学生さんには、将来を見据えた学生生活を考えよう意識作りにも努めました。

昨今では高等教育における学習支援の重要性は年々全国的に高まっています。勉学に励む学生さんと共にすること

で、大まかではありますが十代の学生さんが高校時代に受けていた教育から大学入学後の教育状況まで一貫して把握することができました。お陰で、本学では高校で物理学を履修していた学生さんとそうでない学生さんとの間で大きな学力差が生じていることを理解しました。同時に、正課授業を担当されている先生方の悩みであることにも気づきました。そこで関係各所と協力しながらリメディアル教育として新たに高校物理補講を導入し、学力の2極化の是正と高校物理未履修の学生さんに少しでも物理学の楽しさを感じてもらえるように努めました。その後、

多くの学生さんから感謝の言葉を頂き、今では私の教育活動の原動力となっています。学習サポートを通じ、学生さんから直接実情を掴めるのはLSOの特長だと思います。

日本の将来のために若者を育てていくことは現役世代の責務です。今後も初心を忘れずにLSOで培った能力や経験を活かして、教育者としてしっかりと歩んで参ります。最後に、私を温かく見守り指導して下さいました北大関係者の皆様ならびにLSOの皆様深く感謝申し上げます。



新任のご挨拶

2020年1月から木村真奈美さんと片岡恋惟さんが事務補助員として着任されました。

木村 真奈美 (きむらまなみ)

1月より事務補助員をしております木村と申します。学生の皆さんが快適に学習できる環境作りに、微力ながら貢献して参りたいと思います。LSOをご利用の際は、どうぞお気軽にお声がけください。よろしくお願いいたします。

片岡 恋惟 (かたおか れい)

初めまして。この度1月よりLSOの事務補助員としてお世話になっております片岡と申します。当室では、学生の皆さんが快適に進路や学習について相談できる環境づくりを目指したいと考えております。不慣れな部分が多々あるかと思いますが、1日でも早くお役に立てるように頑張ります。ご来訪の際はお気軽にお声がけいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

今年度は進路履修相談の体制が整い、2018年度と比べますと対応件数が大幅に増加しました。さらに、アカデミックアドバイザーによる個別相談が学生さんから人気で、来年度の弾みになっております。これもひとえに関係者の皆様からのご支援ご高配の賜物と思っております。2019年度も多くの皆様にご協力を頂き、誠にありがとうございました。(秋山永治)

ラーニングサポート室

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 E-mail: lso@high.hokudai.ac.jp
北海道大学高等教育推進機構2階 URL: https://lso.high.hokudai.ac.jp/
電話: 011-706-7526 Twitter: https://twitter.com/lso_hokudai



次号は6月発行予定です